

2025 年度業務実績報告書

提出日 2026 年 1 月 16 日

1. 職名・氏名 教授・桑原美香

2. 学位 学位 博士、専門分野 経済学、授与機関 広島大学、授与年 2003 年

3. 教育活動

(1) 講義・演習・実験・実習
① 財政学(4 単位) 2 年次以上担当
② 内容・ねらい 前半は財政の基本的な 3 つの機能について概観し、中間試験を行った。試験の解説を行い、総論のまとめを行った。後半は各論として、地方財政、租税、社会保障、国債について説明した。また、経済・財政運営に関しての興味を促すよう、時事問題を盛り込みながら、自分なりの意見がもてるようにすることをねらいとした。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学習効果を高めるよう、下記 3 点の要領で予習・復習の時間設定を考慮した講義設計とし (1) 各講義の冒頭 10 分程度で前回のまとめを行うこと (2) 1 テーマを 3 講義（現状、理論、課題と今後の政策）に分けて進め、各テーマ終了時に全体を通したまとめをすること (3) 受講生には講義前迄に教科書を読ませ、自身でレジュメを作成して提出させることで、講義当日を復習の場とする「反転授業」を導入することや、VTR 等を多用することで、昭和時代の状況を体感できるよう工夫した。
① 地方財政論(2 単位) 3 年次以上担当
② 内容・ねらい 用語を理解し、地方分権型社会と三位一体改革に関して、その背景と制度変化について整理した。またデータを読み込めるようにすることにも注力した。後半では、地方税、国庫支出金、地方交付税、地方債に分けて、個別制度の現状と課題について整理した。それらを踏まえたうえで、今後の「まち」を取り巻く環境について、課題と展望について自分なりの意見が言えるようになることを最終目標とした。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 受講生が各自担当する自治体を決め、半年をかけて財政分析のレポートを作成する講義となるよう設計し、受講生自身の手を動かすことで学んでもらえるよう工夫した。また、中間試験では、①用語の抜き出しをすること、②用語の説明をさせ、制度を理解させること、③受講者自身が財政分析を行うこと、の 3 段階でステップアップできるよう、その補助的役割としての講義というスタンスをとった。
① 外書講読(2 単位) 3 年次以上担当
② 内容・ねらい “Good Economics for Hard Times” をテキストとして輪読を行った。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 各担当者が事前に予習して翻訳してきたものを、講義中に確認しながら追加的な情報を加え、体系的に理解できるように工夫した。1 つの章を読み終えた際には、振り返りとして、パラグラフごとの要約を行い全体理解ができるように工夫した。 一方で、中小企業を研究するにあたり、卒業生で株式会社ウララコミュニケーションズ勤務の林田佳夏様より、着眼点等についてお話を伺った(1 月 13 日開催)。 【ゲストスピーカー 1 名】

① 財政学特論演習Ⅱ・大学院講義 (4単位) M2 年次配当
② 内容・ねらい テーマを見つけて自身で参考資料等を検索し、文章化/発表する基礎力をつけることに主眼を置いた。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 修士論文の執筆にあたり、論文構成や分析について指導した。先行研究から得られた分析の方向性や手法、データなどについて、当初の研究動機から離れないよう助言した。
① 演習Ⅰ(4単位) 3 年次配当
② 内容・ねらい 講義時間の前半は城のまちまちづくり協議会や株式会社カズマにおいて、ヒアリングや現地調査・工場見学を行い、課題抽出や解決策の提案を行った。中間報告会では、地元住民や高校生、県議会議員、市役所職員等にも参加いただき、ご意見をいただいた。 後半では、新聞を用いるなど時事問題について議論し、国際経済と地域経済について、NISA について、震災と復興財源問題に関する論文等の輪読を行った。時事問題に関心を持つこと、簡潔にレジュメ化すること、整理したことを自分なりの言葉で発表すること、人の意見に対し質問、議論することを主眼においた。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 15 回の講義のうち前半は、論理的思考についての実践と、分析手法に関する合同勉強会(廣瀬ゼミ)を行った。その他、澁谷工業株式会社、志賀原子力発電所(石川県)での視察・調査と、ワークショップを行った(9/29-30)。ワークショップでのまとめは、日本原子力産業協会による講義(杉山一弥フェロー)にてご意見をいただいた(10/28 開催)。北陸原子力懇談会コーディネートによるセミナー(一般財団法人エネルギー経済研究所 下郡けい様)(11/4 開催)、近畿地方整備局(大阪)、足羽川ダム事務所より公務員試験や働き方についてお話を伺うとともに、現地を見学した(10/30 開催)。 併せて、福井工業大学、福井大学、福井南高校と高レベル放射性廃棄物に関するワークショップ(11/1)にも参加させ、インプットとアウトプットを循環させるように工夫した。 【ゲストスピーカー 3人】 【フィールドワーク等 のべ7件】
① 演習Ⅱ(4単位) 4 年次配当
② 内容・ねらい 受講生の興味ある分野について、卒業論文として整理するにあたり個別に指導した。特に卒業論文執筆のための指導では、課題抽出、仮説設定、検証、考察の一連の流れを自身で組み立てられるようになることが主なねらいであった。そのため、多様な情報を取捨選択して取り入れつつ、自身の考えを整理し、賛否を述べられるよう指導した。また、上記の講演会やセミナーにも参加させた。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 前期の講義は、3 年次の復習として分析手法に関する合同勉強会を行い、上記記載の講演会、視察等にも参加させた。後半は論文執筆に時間を割いた。テーマの絞り込みに際しては、概念の明確化や言語化ができるよう個別対応した。また、執筆した卒業論文を発表する場を設け、ゼミ内での発表会や、廣瀬ゼミ、藤野ゼミ、北野ゼミ、芝田ゼミとの合同報告会を開催することで、プレゼンテーション資料の作り方や発表の仕方についても学べるようにした。 【ゲストスピーカー(同上) 3人】 【フィールドワーク等(同上) のべ7件】
① 財政学特論・大学院 (2単位) M1 年次以上配当
(2) その他の教育活動
内容

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【 本】
②学術論文（査読あり）	【 本】
③その他論文（査読なし） 藤原 直樹・桑原 美香・関下 弘樹・小川 長(2025)「人口減少社会における持続可能で強靱な地方の創生」『地方自治研究学会』第 40 巻第 1 号、pp. 55-72。	【 1 本】
④学会発表等 公的統計ミクロデータ利活用に関する研究集会、2025 年 11 月 20 日 (於 zoom)	【 1 件】
⑤その他の公表実績 ・「エネルギーと福井を考えるフォーラム」 パネル報告 2025 年 5 月 11 日 於. 福商工会議所 ・若狭町講演 2025 年 6 月 9 日 於. 若狭町役場 ・日本原子力財団「2025 年度 全国交流会」ポスター発表(学生) 2026 年 2 月 8 日 於. ビジョンセンター田町 ・「北陸地域政策フォーラム」 パネル報告 2026 年 3 月 9 日 於. 金沢大学	【 4 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績 【学外】	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	
・日本地方自治研究学会 常任理事(論集編集委員) ・地域公共政策学会 常任理事 (論集編集委員長) ・日本財政学会 ・日本地方財政学会 ・公共選択学会 ・中四国商経学会 ・北陸地域政策研究フォーラム 運営委員	

5. 地域・社会貢献活動

連載コラム：『改革者』政策研究フォーラム(2025年12月～)

出演：こしの都ネットワークCATV 越前町長選挙速報(2025年3月2日)

①-1-1：総務省 地方行財政ビジョン研究会(2022年度～現在に至る)

①-1-2：北陸財務局 北陸地域連携プラットフォーム (2013年度～現在に至る)

①-1-3：北陸農政局 地域別農業振興計画審査委員会(2022年度～現在に至る)

①-1-4：北陸農政局 農山漁村振興交付金事業 評価委員会・委員長(2024年度～現在に至る)

①-1-5：北陸農政局 農山漁村振興交付金事業 選定委員会 (2025年度～現在に至る)

①-1-6：近畿地方整備局 足羽川ダム事業費等監理委員会(2014年度～現在に至る)

①-1-7：金沢国税局 土地評価審議会(2022年度～現在に至る)

①-1-8：福井労働局 福井地方労働審議会(2019年度～現在に至る)

①-1-9：福井労働局 公共調達監視委員会(2022年度～現在に至る)

①-2-1：福井県 固定資産評価審議会(2016年度～現在に至る)

①-2-2：福井県 敦賀港地方港湾審議会(2021年～現在に至る)

①-2-3：福井県 社会教育委員会(2022年～現在に至る)

①-2-4：福井県 特定調達苦情検討委員会 (2022年～現在に至る)

①-2-5：福井県 土地利用審査会(2023年～現在に至る)

①-3-1：福井坂井地区広域市町村圏組合・指定管理者選定委員会(2014年度～現在に至る)

①-3-2：福井市 公正入札調査等委員会 (2007年度～現在に至る)

①-3-3：福井市 廃棄物減量等推進会議・委員長 (2007年度～現在に至る)

①-3-4：福井市 市民協働推進委員会・委員長 (2009年度～現在に至る)

①-3-5：大野市 行政改革戦略会議・座長(2013年度～現在に至る)

①-3-6：大野市 総合計画審議会・施策評価アドバイザー(2022年～現在に至る)

①-3-7：あわら市 行政評価外部評価委員会・会長 (2012年度～現在に至る)

①-3-8：あわら市 公共施設総合管理計画設委員会・委員長 (2023年度～現在に至る)

①-3-9：あわら市 公共施設再配置計画検討委員会・委員長 (2023年度～現在に至る)

①-3-10：あわら市 総合振興計画審議委員会・委員長(2025年度)

①-3-11：坂井市 総合戦略推進会議・委員長(～現在に至る)

①-3-12：坂井市 行政改革推進協議会・会長(～現在に至る)

①-3-13：坂井市賑わい創出出店舗運営事業者選考委員会・委員長(2025年)

- ①-3-14：坂井市丸岡城観光情報センター指定管理者候補者選定委員会・委員長(2025)
- ①-3-15：越前市 都市計画審議会・委員(2025年～)
- ①-3-16：若狭町 公民連携推進協議会(2020年度～現在に至る)
- ①-3-17：永平寺町 都市計画審議会(2022年～現在に至る)

6. 大学運営への参画

(1)補職

- ・経済学科長(2025 年度～現在に至る)

(2)委員会・チーム活動

(3)学内行事への参加

入試関連業務等

高校訪問・説明会等

- ・福井商業高等学校(大学訪問) 2025 年 6 月 24 日
- ・敦賀高等学校 2025 年 9 月 9 日
- ・福井商業高等学校(授業) 2025 年 10 月 23 日
- ・福井プレカレッジ(前期) 2025 年 7 月 27 日
- ・高校教員との相談会 2025 年 8 月 21 日
- ・福井プレカレッジ(後期) 2025 年 11 月 8 日
- ・福井南高等学校報告書 コメント寄稿

(4)その他、自発的活動など